

教科 社会(公民的分野) 学年 第3学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
公民学習の初めに	1	<ul style="list-style-type: none"> ○公民的分野の学習を始めるにあたって、「公民」の意味について考える。 ○地理的分野や歴史的分野の学習内容を振り返るとともに、教科書の目次などを基に、これから学習する公民的分野の学習の概要を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公民的分野の学習内容のあらましと学習のねらい、地理的分野や歴史的分野との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公民を学習する意義について考え、これまで学習した内容を踏まえた意見を表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「公民」の意味について、公と私の意味の比較を通して考え、これからの公民学習を通して意欲的に追究しようとしている。
現代社会と私たち	11	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちが生きる現代社会を概観させることで、公民的分野への関心を高めさせ、これ以降の公民学習につなげる。 ○地理的分野、歴史的分野との関連を図るとともに、現代社会の特色をさまざまな条件や要因から捉えさせるなど、多面的・多角的に考えさせる。 ○さまざまな資料から、現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について読み取らせ、適切に表現させる。 ○現代社会の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化が見られ、それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていること、また、現代社会における文化の意義や影響について理解させる。 ○現代社会を捉える見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることを、具体的な社会生活と関連づけて理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について理解し、その知識を身につけている。 ○現代社会を捉える見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることに気づき、それらを理解している。 ○さまざまな写真や統計資料などから、現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について読み取り、図表や短文などに適切にまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について、地理的分野や歴史的分野の学習内容や、それぞれの事象の相互の関連などに着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義について、身近な生活と関連づけて捉えたり、対立と合意、効率と公正の見方や考え方に基づいてまとめたり、発表したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○現代社会の特色や日本の伝統や文化に対する興味・関心を高め、それらが社会生活にどのような影響を与えているか、また、自分たちはその中でどのように生きていくべきかなどについて、意欲的に考えている。 ○現代社会を捉える見方や考え方について、具体的な事例を基にした活動に意欲的に取り組み、これ以降の公民的分野の学習に対する関心を深めている。
個人の尊重と日本国憲法	12	<ul style="list-style-type: none"> ○個人の尊重の考え方や法の意義について、基本的人権や日本国憲法の役割を中心に、具体的な活動を通して意欲的に追究させる。 ○現代社会のさまざまな人権上の課題の解決や、共生社会を実現するための取り組みに、社会の形成者として積極的に関わろうとする態度を育てる。 ○立憲主義の意義や公共の福祉による人権の制限などについて、具体的な事例を通して多面的・多角的に考察させ、その過程や結果を適切に表現させる。 ○日本国憲法の条文をはじめとするさまざまな資料に親しませるとともに、個人の尊重に関する資料を適切に収集・選択させ、的確に読み取らせる。 ○日本国憲法の基本原理(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)について、具体的な生活との関わりを通して理解させるとともに、自由・権利と責任・義務の関係が社会生活の基本となっていることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人の尊重の考え方や、社会生活における法の意義と憲法に基づく政治の重要性、日本国憲法の基本原理(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)、天皇の地位と国事行為について理解し、その知識を身につけている。 ○個人の尊重の考え方や法の意義に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、具体的な事例を通して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ○返人権思想の展開と日本国憲法の成立について、歴史的分野の学習内容を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人の尊重の考え方や法の意義に対する関心を高め、民主的な社会の在り方について、社会の形成者としての立場から考えている。 ○返現代社会における人権に関する課題について関心を持ち、その解決について意欲的に追究している。
現代の民主政治と社会	18	<ul style="list-style-type: none"> ○身近で具体的な事例を通して政治に関心を持たせ、主権者として政治に積極的に関わろうとする意欲と態度を育てる。 ○選挙をはじめとする国民の政治参加によって、より良い民主政治が運営されることに気づかせ、良識ある主権者としての政治参加の在り方について考えさせる。 ○新聞記事や統計資料など、日本の政治に関する資料を適切に収集・選択させ、現実の政治の動きを多面的・多角的に捉えさせる。 ○議会制民主主義の意義や、国会を中心とする国政のあらまし、地方自治の考え方について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者の立場から理解し、その知識を身につけている。 ○多数決の原理や政党の役割、公正な裁判の保障などについて理解するとともに、国民の政治参加の重要性を理解している。 ○国や地方公共団体の政治に関する新聞記事や法令、判例などの資料をさまざまな方法で収集・選択し、政治や社会の現状や課題について的確に読み取ったり、文章や図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○政治に関するさまざまな事象や課題について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察するとともに、主権者としての政治参加の在り方について考えている。 ○選挙や裁判、地方自治などに関する多様な活動を通して、自分の意見を根拠を挙げながら分かりやすく説明するとともに、多様な価値観を尊重しながら話し合いを行い、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 ○民主政治をより良く運営していくためにはどのような仕組みが必要か、また自分は政治にどのように関わっていけばよいか、意欲的に考えている。

令和6年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二中学校

<p>私たちの暮らしと経済</p>	<p>21</p>	<p>○調査や討論、シミュレーションなどの多様な活動を通して、経済に対して関心を持たせるとともに、経済に関する諸課題について、自ら考えようとする態度を育てる。 ○統計資料や模式図、新聞記事などのさまざまな資料を収集・選択させたり、読み取らせたり、その結果を分かりやすくまとめて表現させたりすることを通して、経済的事象を捉える見方や考え方の基礎を養う。 ○経済活動が、人間生活の維持・向上のために欠かすことのできないものであることを、身近な消費生活を通して理解させる。 ○無限で多様な人々の欲求に対して、社会の資源は有限であり、その資源からの財やサービスを生産するか価格を考慮して選択するという、市場経済の基本的な考え方を理解させ、現代の生産や金融などの仕組みや働き、企業の役割と責任について考えさせる。 ○国民の生活と福祉の向上を図るために、市場の働きに委ねることが難しい諸課題の解決において、政府が果たしている経済的な役割に気づかせるとともに、財源の確保と配分という観点から財政の在り方について考えさせる。</p>	<p>○身近な事例を基に、消費や労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を身につけ、その考え方を活用して経済的事象を捉えている。 ○社会資本の整備や社会保障の充実など、国民の生活と福祉の向上のために国や地方公共団体が果たしている役割を理解し、その知識を身につけている。 ○経済活動に伴う環境汚染や自然破壊の問題について理解するとともに、それに対して政府、企業、家計のそれぞれが取り組むことの重要性を理解している。 ○経済に関する統計資料や新聞記事などをさまざまな方法で収集し、家計、企業、政府の経済活動や、日本経済の諸課題について読み取ったり、その結果を文章や図表などに適切にまとめたりしている。</p>	<p>○企業の社会的責任や日本の財政の課題などについて、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、考えたことを分かりやすく表現している。 ○さまざまな経済的事象や日本経済の諸課題について、消費者や生産者、労働者、政府、納税者などの立場から多面的・多角的に考察し、考えたことを分かりやすく表現している。</p>	<p>○身近な経済的事象から、企業の生産活動、金融の働き、政府の経済的な役割などについて関心を持ち、経済に関する諸課題について意欲的に追究している。 ○消費者問題や労働、金融、財政などと、自分の現在および将来の生活が密接に関わっていることに関心を持ち、調査や討論などに積極的に取り組んでいる。</p>
<p>地球社会と私たち</p>	<p>17</p>	<p>○国際社会の現状や諸課題について関心を持たせ、日本の果たすべき役割について考えさせるとともに、世界平和の実現と人類の福祉の増大に向けての熟慮と協力しようとする態度を育てる。 ○国際社会の現状や諸課題について、さまざまな資料を基に分析させ、公正に判断させ、適切に表現させる。 ○国際社会の現状や諸課題、国際機関の活動に関するさまざまな資料を収集・選択させ、的確に読み取らせる。 ○国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることに気づかせる。 ○国際社会における国家や国際機構、NGOの役割や、それらが国際社会の諸課題を解決するために行っている取り組みについて理解させる。</p>	<p>○世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から、国家相互の主権の尊重、各国民の相互理解と協力の重要性について理解している。 ○地球環境問題や貧困問題などの国際社会の諸課題や、その解決のためのさまざまな取り組み、日本の国際貢献について理解し、その知識を身につけている。 ○国際社会の現状や諸課題に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、的確に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。</p>	<p>○さまざまな統計資料や写真、新聞記事などの読み取りを通して国際社会が抱える諸課題を見いだし、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、それらを解決する方法について、持続可能な社会の観点から的確に表現している。 ○国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、過程や結果を適切に表現したり、発表や討論などを通して考えを深めたりしている。</p>	<p>○国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、より良い地球社会を築くための解決策について考え続けようとする態度が見られる。</p>